

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	砂防課長 阪本 哲 （太田 吉哉）	内線	4459 （4467）
------	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	3.0億円
		急傾斜地崩壊対策事業 うなわ 鵜縄（2）地区	養父郡 関宮町 うなわ 鵜縄	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
養父郡 関宮町 鵜縄			H16	H16	H21
事業目的			事業内容		
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。			急傾斜地崩壊対策事業（防災工事） 擁壁工 L = 430m		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全安心		<ul style="list-style-type: none"> 鵜縄(2)地区は、急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家33戸及び、町道、公民館（避難場所）がある。 人家裏の斜面には崩壊跡や風化した露岩が見受けられ、斜面崩壊の危険性は高い。 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> 山村部を縁取る緑の斜面は、地域の豊かな景観環境を構成するものであり、斜面崩壊防止工事による環境保全効果は高い。 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> 地元から事業化への要望は強い。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 保全人家33戸に加えて、町道、公民館（避難場所）があることから事業効果が高い。 			
効率性		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に向けた地元要望があり、町の協力体制も整っているため円滑な事業執行が可能である。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 待ち受式擁壁の施工に当たっては、法面掘削を法裾の最小限に抑え、既存斜面の緑を残すことで環境保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 斜面には崩壊跡や風化した露岩が見受けられ、崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高く、早急な対策が必要である。 斜面の崩壊により人命（人家33戸）、町道、公民館（避難場所）に被害が生じる。 			